



表郷中学校だより

令和2年11月27日(金)

ポ フ ラ

第33号 発行者・文責 校長 高田 健一

教員：授業力向上→生徒：学力向上

教頭先生が、**道徳科の模範授業**を11月13日(金)に行いました。『ライバル』という教材を用い、『真の友情』について深く理解し、互いに認め合う友情を育もうとする態度を育てる」をねらいとして授業を展開しました。



〈友達の考えも参考に〉

いつもと異なる雰囲気の中、「真の友情とは何か」について考えるよい時間となりました。



〈教頭先生の道徳：緊張感の中・・・〉



保健体育科の授業研究(2年2組)を25日(水)に行いました。この授業は、大吉正之先生が「目標記録を達成できるように応援カードを作成する」を研究視点に実施したものです。

国語科の授業研究(1年2組)を26日(木)に行いました。この授業は、海津ひかり先生が「書いた文章を読み合い、正しく意味を理解しわかりやすく書けているかを相互評価し合うことで、文章により表現する力を高めさせる」を研究視点に実施したものです。



自分の命は自分で守る「自助」 ・・・「共助」、「公助」

第2回避難訓練を白河消防署表郷分署白岩さん、本宮さん、近藤さん、鈴木さんを講師に招き、11月20日(金)に実施しました。これは、「①非常時における生命の安全確保を第一とするため、全員が迅速かつ安全に避難できるよう日頃より、避難経路・避難場所・人員点呼などの避難方法等を訓練し習得する。②防犯や防災に対する知識を深め防災意識、防犯意識の高揚を図る。」ことを目的として行ったものです。



〈話は目と耳と心で
：すばらしい態度でした〉

子供たちは、先生方の指示のもと安全に気を付け避難することができました。真剣に避難する姿勢、講師の方々の話を聞く態度がとても素晴らしかったです。



〈避難場所へ〉

東日本大震災に学ぶ (総務省消防庁ホームページより)

釜石の子どもたちは、自らの命を守っただけでなく、まわりのお年寄りや幼児の避難を助けたことや、避難所の清掃、避難住民の名簿づくりなど、避難後の生活にも貢献したことで知られています。このように、災害のときには、まず自分で身を守り、そして助け合うことが必要となります。

今後も、子供たちの良い点を認め、励まし続ける温かな言葉をよろしくお願いいたします。